

生津部落有文書概要

1: 文書群番号	076014
2: 文書群名	生津部落有文書
3: 出所	生津村
4: 家業・役職等	
5: 地名	摂津国武庫郡生津村／兵庫県武庫郡生津村／武庫郡武庫村生津／尼崎市生津／尼崎市武庫之荘西ほか
6: 行政区分	幕府領／尼崎藩領／兵庫県第8区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市
7: 歴史	<p>生津村は、市域北西部に位置する。史料上の初見は慶長10年(1605)で「ナマツ田村」とある。</p> <p>村高は慶長10年、元禄15年(1702)に267石余、天保5年(1834)に268石余とある。また、天和・貞享年間(1681～1688)に家数26軒・人数159人、天明8年(1788)に家数15軒・人数68人であった。</p> <p>水利は武庫井組に属した。氏神は磐長姫神社(近世には大將軍社)。村内にはほかに住吉4社があったが、磐長姫神社に合祀された。</p> <p>明治22年(1889)以降は武庫村、昭和17年(1942)以降は尼崎市の大字となる。</p>
8: 伝来	市史編集室時代に調査済みであった本文書群を、昭和52年に所蔵していた生津磐長姫神社氏子会が史料館に寄託。
9: 史料入手先	生津磐長姫神社氏子会
10: 点数	390点(目録件数251件)
11: 年代	貞享4年(1687)～昭和33年(1958)
12: 構造と内容	<p>本文書群の大半は近代史料で構成されるが、土地や貢租、支配に関連する近世史料が若干存在する。</p> <p>近代史料は地租改正、生津村村政、武庫村村政関連史料、磐長姫神社の維持・管理、武庫井等水利に関する史料のほか、共同苗代をはじめ明治30～40年代の同地域の農業についての史料が比較的まとまっている。</p> <p>また、明治41年(1908)から昭和22年(1947)まで戦前の村方支配帳がまとまっている。</p> <p>その他水堂井の高瀬船関係史料がある。運行が実現したのかは定かではないものの、数少ない武庫川水系での高瀬船に関する史料として注目される。</p>
13: 関連史料	吉田久氏文書(1)(2)、吉田惣兵衛氏文書(1)(2)、福田弥兵衛氏文書(1)～(4)、福田皖行氏文書
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	河野未央